

第8回「文芸思潮」エッセイ賞 発表

第8回
文芸思潮
エッセイ賞

二〇一二年度第8回「文芸思潮」エッセイ賞に多数の御応募をいただき、まことにありがとうございます。今回も日本国内および世界から四五〇篇の作品が寄せられ、十代から八十歳代までと、幅広い世代にわたったばかりでなく、地域的にもアジアやヨーロッパ、南北アメリカと世界中から御応募いただきました。また過去の重要な記録や最近の科学の先端の記録も多く寄せられ、よい作品が実にくさん集まった、充実したコンテストとなりました。

例年の通りまず選考委員会予選担当による第一次・二次選考、続いて第三次選考が行なわれ、最後に三神弘、水木亮、福岡哲司、都築隆広、五十嵐勉五人の選考委員によって討議されました。厳正な審査の結果、以下の通り受賞作が決定いたしましたので、ここに発表させていただきます。今号には当選作および優秀賞を発表させていただきますが、以後奨励賞、入選作も、極力「文芸思潮」誌上に掲載させていただく予定です。御期待ください。

第9回「文芸思潮」エッセイ賞は明年もほぼ同じ要領で募集いたします。どうぞ奮って御応募ください。

なお授賞式は明年一月二十六日(土) 大田区民プラザで行なわれる予定です。どうぞ御出席ください。

「文芸思潮」エッセイ賞

最優秀賞

「祖母のはなし」

ハムダなおこ (アラブ首長国連邦)

「氷柱の涙」

岬健太郎 (大阪府寝屋川市)

「音楽にすぐわれるもの」

松岡久仁子 (東京都杉並区)

優秀賞

「泥棒市のヨガ行者」 ならはたかし

(オランダ・スヘルトーヘンボス市)

「アヒルが消えた日」 むかいはつこ

(神奈川県横浜市)

「関心は半病床の中」 村上 柊 (東京都多摩市)

「鉄塔」 さいとうみち子 (神奈川県横浜)

「虹色のチマチヨゴリ」 森千恵子 (福岡県福岡市)

「空へ登る汽車」 田中濱子 (大阪府豊中市)

「みたらし団子」 奥田 登 (京都府相楽郡)

奨励賞

「シツクマザー症候群」 栗山恵久子 (東京都府中市)

「シヤレコウベの望郷」 西島雅博 (東京都三鷹市)

「精神科病棟を出て」 寺内なつき (東京都中野区)

「妹、志津の失明」 印南房吉 (神奈川県横浜)

「開運日」 若草田ひずる (鹿児島県肝属郡)

「左腕を追いかけて」 藤田陽子 (神奈川県厚木市)

「鼻垂れ小僧でありたい」 佐藤隆定 (岐阜県美濃市)

「二条市場とかくまきの道」 金田一淳 (青森県三戸郡)

「病院の廊下」 奥畑信子 (大阪府東大阪市)

「三人の少女」 佐久間恵 (東京都墨田区)

「東京学生会館にいた頃」 小林俊英 (神奈川県横浜)

「古い金庫と命の重さ」 ゴルビー長田 (神奈川県横浜)

「枝豆と私」 三枝花里 (埼玉県所沢市)

「角封筒」 山崎文男 (長野県上田市)

「のんべえとウソべえ」 山田まさ子 (東京都国立市)

「つまづきこそ」 早川実花 (佐賀県佐賀市)

「父の手」 美山有希 (福岡県福岡市)

「瘤の声」 山崎人功 (長野県安曇野市)

「祖母の置き土産」 木村令胡 (福島県会津若松市)

「夕陽のなかのドン兵衛」 榎並掬水 (広島県広島市)

「褪せた空手着」 斎藤 望 (北海道紋別市)

「介護はバラ色」 外山寛子 (神奈川県横浜)

「千変万化」 鈴木綾子 (徳島県小松島市)

「赤まんまの絆」 安江康治 (岐阜県岐阜市)

「最後の仕事―白血病と闘った先生に捧ぐ―」 星野夕子 (千葉県我孫子市)

「一勺」 よすみこうすけ (大阪府高槻市)

「プリンセス・トヨトミ」と大阪への旅」

酒井恵三 (石川県金沢市)

「空白の心境」 木戸竜之介 (栃木県那須塩原市)

科学記録特別賞

「小惑星探査機『はやぶさ』が持ち帰ってきたもの」

漆畑晨斗（静岡県駿東郡）

社会批評奨励賞

「自動車の安全装備に対する提言」

志村紀昭（愛知県名古屋市長）

「ナースあがり」

小野友貴枝（神奈川県秦野市）

「地方国立大学の教育力・研究力を向上させるための

穏健なる提案」

邪馬知賢（岡山県赤磐市）

佳作

「月夜のウサギ」

高岡啓次郎（北海道苫小牧市）

「届かない手紙」

かまたまこと（北海道札幌市）

「オレンジ色の夕焼け」

宇田一紘（東京都練馬区）

「冬の月」

中谷万勲（福井県福井市）

「三十路をゆけば」

林 由貴（北海道札幌市）

「さらば9407番」

凹田連三（山梨県笛吹市）

「『お盆』は古代インド語」

小笠原幹夫（埼玉県狭山市）

「粋な計らい」

岩谷隆司（三重県亀山市）

「ある記憶喪失」

本松秀茂（福岡県北九州市）

「わが家の電化の歴史」

菅宮慶江（千葉県銚子市）

「懐かしい空母葛城」

郷 芳美（鹿児島県鹿児島市）

「老愁」

原石 寛（神奈川県横須賀市）

「バーヤアンジンさん」

横笛存生（大阪府河内長野市）

「命の花咲く」

嶋 平和（兵庫県姫路市）

「追いかけていた白の意味」

橘 宮道（福岡県福岡市）

「今だし母の戦後」

谷 都留子（東京都杉並区）

「時空の雑器」

川西葉吉（岐阜県多治見市）

「五十才のラブレター」

志村美子（福岡県福岡市）

「母と一粒の米」

成瀬富貴子（岐阜県各務原市）

「父母蛙」

南條美起子（埼玉県越谷市）

「茶摘みのころ」

徳重総章（埼玉県行田市）

「ホワイトデー」

七里彰人（愛知県安城市）

「ハム」

三田村正彦（京都府京都市）

「僧侶になった君と」

坂上翔馬（埼玉県川口市）

「娘と私」

西田美智子（東京都八王子市）

「二十七年目の結論」

永田俊英（茨城県銚田市）

「原郷、小さき漁港にて」

日野笙子（北海道札幌市）

「彼氏いない歴30年が語る、いいフラれ方と悪いフラれ方」

羽田スウ（東京都練馬区）

「アイ・ラブ・スカイ」

竹内秀子（栃木県宇都宮市）

「衰えた目玉からの、意外なプレゼント」

佐藤義弘（福島県いわき市）

「どいっち」

村田和哉（福岡県福岡市）

「風花」

舟橋空兎（愛知県尾張旭市）

「二匹と二人」

池山弘徳（宮崎県都城市）

「かぼちゃ団子」

大樹独活（三重県四日市市）

「白く輝いたおにぎり」

田賀せいし（北海道石狩市）

「紫色のかすみ草」

小林明子（北海道札幌市）

「安喰善作」

高見けい（東京都杉並区）

「スワンの旅立ち」

森 幸夫（福岡県福岡市）

「日印の狭間で」

藤沢梨沙（大阪府堺市）

「明日への希望」

太田美年子（神奈川県横浜濱市）

「きもの」

中 他見男（大阪府大阪市）

「今日は持って行かんのか」

守屋正雄（東京都町田市）

「ムクヤ」

神谷久香（高知県吾川郡）

「ギプスとエンコウ」

宮前寿子（石川県加賀市）

「霧のくに随想」

坂本吉史（大阪府大阪市）

「逆走」

山田吉生（栃木県宇都宮市）

「思えば遠く来たもんだ」

塩坂佳子（東京都板橋区）

「再生の空」

清水雅子（岩手県盛岡市）

「63年前の恐怖の一夜、そして大震災」

矢尾博子（福井県福井市）

「思いがけないプレゼント」

湯けむりの中のわが故郷」

古野明子（福岡県福岡市）

「チェリーピンクの車」

坂本かつえ（山梨県北杜市）

「『歌会始の儀』 預選者として」

野上卓（東京都世田谷区）

「熱油」

下村きよ子（千葉県千葉市）

「丸い背中」

峰 裕（東京都墨田区）

「夕闇のロンド」

井上幸子（岡山県津山市）

入選

- 「源さん」 山田和彦
「ある錯乱の記憶」 竹越あきを
「人の縁」 長坂隆雄
「空」 榎 明子
「遠い『くに』の友」 原 節子
「母の家」 山県大慈
「深界」 山吹たかし
「カカ」 木下日眞子
「冬のセキレイ」 吉田宏子
「人相の本」 渡邊 敏
「昼休みの二考察」 可孤島育途
「額のぬくもり」 世波場葉
「今晚は」 飯島もとめ
「児童虐待が跡を絶たない。」鈴木幸子
「さよなら子宮」 ほり けい
「Kへ」 こもも
「蜚」 土山育司
「天使は健在？」 錦織佳代子
「秋桜忌」 白楊風子
「白い割烹着」 浜木綿
「ほんのひととき」 宮尾美明
「スタート ミー アップ」小野寺悠記
「クラウン・カレッジ」 森 響子
- 「ぬくもり」 松田いくみ
「光の差すほうへ」 優輝
「生きる」 河合千都
「大地に充ちる歌」 神戸朋子
「14才の記憶」 稲葉まき
「囲む食卓」 古川 鯉
「時の流れは早すぎて」 堤 京子

社会批評賞入選

- 「反比例する進歩と廃退」 ゆりかゆみか
「手すりは必要か」 小林理樹
「本当に大切なこと」 滝川正巳
「学力低下は氷山の一角」 富嶽庵
「絶望からの出発―愛の力」 金井秀子